

2010.11.16訪問



青年部員の 事業所に行つた 聞いてきました

第二十五回 料亭 安田屋

今回は、創業135年 一度食べたら忘れられない名物料理「味噌鍋」や懐石料理で有名な料亭「安田屋」さんに訪問してきました。

(文・安藤 博之)



おもてなしの心が リピータ客を呼ぶ!

訪問してみても、のれんをくぐり小京都を思わせる長い廊下を歩くと奥に歴史を感じる和風建築の入り口があります。のれんをくぐる時昔へタイムスリップした感じになるのは私だけでしょうか・・・?

かつて笠松陣屋があった閑静な住宅街に、ひっそりと佇む老舗料亭の青年部員の5代目店主と将来6代目になる息子さんも参加して楽しい事業所訪問となりました。



「オノのシフト」について教えてください

うれしいと思うことは何ですか?

お客様の「おいしかったよ」「の一言をはじめ」「友達を連れてまた来たよ」と遠くからも来てくれた事。

仕事をしてつらかった事は?

仕入れ時間も入れると朝6時から11時まで働くこともあり長時間働く辛いな〜と感じることもあるそうです。また、完全予約制ですが予約なしでおみえになるお客様もいることで仕入の関係などで予約なしのお客様は断っています。お客様の車のナンバーを見ると遠くのナンバーだったりすると申し訳ないという思いがあります。

仕事を通じて学んだ事は? お客様への思いは?

まごころを込めて作った料理はお客様も料理を理解してくれる。また、テレビ番組の取材でガレッジセールさんのゴリさんが来店した事は有名な話ですが、後日プライベートでも来店してくれた時はうれしかったです。

仕事で工夫している事は?

近年は、テレビ番組や雑誌・ホームページ・口コミなどの影響で今までのお客様はもちろんです、新規のお客様も遠方のお客様も増えてきたそうです。また、お客様には後日 お礼の手紙を書いたりしてリピータ客を増やす努力をしています。

今後の事業の発展について

息子さんに跡を継いでほしい思いもありますが、この先何百年と続けたい。

